

幸せの雪だるま

小林絵美

縛りから解き放たれました！気分的には呪  
キリ”つてさわやかに気分爽快なんです  
けどね。同僚たちは、この不況のご世に気は  
確かか？次の仕事は見つかっているの？  
などと言つて心配してくれました。  
無茶は承知の上。それでも退職を急ぐほ  
ど、健康状態も精神的にも追い詰められ  
ていました。結局は自分を守るための退  
社です。いつか社会人としてルール違反だと思  
いの。客観的な事実だけを書いておきま  
す。業種はいえませんが、専門職です。  
会社で築き上げた、中小企業クラス。社長が一  
代で同族運営の会社です。なので社長の固  
めた同族運営です。なので社長の固  
ワコンマン運営です。なので社長の固  
入社時に説明を受けなかつたことが多い。  
たとえば、有料休暇は皆無。病気で休ん  
でもお給料から引かれます。年老いた  
親を看ている人や、小さい子供を抱えて  
いる人は大変です。小さい子供を抱えて  
社長とその家族が王族のように君臨し

ているので、出社と退社時は側に行き  
深々と頭を下げて挨拶。お昼休憩に行く  
ときも帰ってきたときも、側に行き礼を  
つくとした挨拶。こうしたとき、社長の目  
を見て笑顔で挨拶を言わないと、烈火の  
ごとく怒鳴りだす始末。  
常に顔をうかがい、ちょっとしたこ  
とで怒鳴るので緊張の連続でした。特に  
怒鳴りながら興奮してくると言葉が乱暴  
になります。  
「おまえなんか、その窓から飛び降り  
て死んでしまえ！」とめえ、誰のおかげ  
で生活できていますかと思っているんだ！  
などはマシなほうです。  
なんとかがマンできまします。なんと  
分を振り返ると、三代で子供を抱えた  
バツ一女です。から。転職の難しさも、世  
間の厳しい風も、よくわかっています、専  
門職が必要な業種でありながら、その道  
のブロガーはなかなか書きたことです。私  
でいるのは「会社書きたことです。私が望  
んでいるです。会社には「プロも経験者す  
らない、素人の社長ジュニアが上司とし  
て手探りの仕事運びでした。  
のふだんは決断の早い典型的なB型性格  
の私も数ヶ月悩みました。収入を失うこ  
と取り決めたあつても、かななかったの  
と取り決めたあつても、かななかったの

という狭い世界のなかで過ごすうちに、すつかり洗脳されてしまつていたのかな。この会社を辞めると生活が成り立たななつて、毎日ビクビク出社してしまいました。原稿を書き修行も途中で放り出したまま、熱も薄れていきました。書きたいと思う情いた原稿を引っ張り出して読んで、ため息と涙がでました。

そんな時、体調を崩して病院に行つた診断。体が心の声を代弁してくれたようです。元も病気で寝込んでお給料が減るなんて、元も子もない。なんのための忍耐だろうか。これは辞める時がきたな。もう、ためらひは消えていました。

慣から、体が震えて“恐る恐る申し上げます”状態だったのですよ。それで案の定、「辞めたいやつは辞めてしまえ。こないない会社を辞めるなんてバカだ」などありましたね。これも辞めるための試験と思えば、気持ちいいほどでした。これで縁が切れる。なんとかの最後っ屁だなあ、とやけに冷静でいられました。

おかげで体調はすっかり元に戻り、元気がつぱい。なんで、もっと早く辞めなかつたの。う。体が元氣になつただけじゃなく、氣力もやる氣も取り戻しま

した。もちろん物書き修行も再スタート  
です。「健康」「自分らしさ」「夢」が、退  
職したとたん、生き返ったようです。  
人間の気力というのは不思議ですね。  
落ち込んで暗い考えに囚われているとき  
は、迷路に入り込んだようで益々深みに  
はまってしまいます。でも、ウキウキし  
ていたら、アルバイトがすぐに決まりま  
した。やっぱり家族を抱えているから、  
生活の安定が一番の優先課題です。多少、  
収入的には落ちてても、足元を固めると一  
安心できます。  
この調子でドンドン運を呼んじやいま  
しょう。これを「幸せの雪だるま」と勝  
手に命名。なんせ今、思いついたのです。  
今の気分が明日につながり、未来を作っ  
ていくのでしょう。いい経験をしました。